

デュアルキャリアのロールモデル事例

- **陸上・室伏広治選手**： バイオメカニクスの博士号取得。競技力向上にもプラスに。現在は大学教授とスポーツ庁長官
- **サッカー・本田圭佑選手**： 現役選手のうちから、カンボジアの監督やビジネスをしている
- **ラグビー・福岡堅樹選手**： 2019年W杯後には医師を目指すことを公言し、28歳で医学部に合格した
- **柔道・朝比奈沙羅選手**： 世界柔道金メダルを獲得後、24歳で医学部に入学し、医学生としても競技を続けている
- **サッカー・鈴木啓太選手**： 浦和レッズから引退後すぐ、腸内細菌を活用した商品開発企業を設立した
- **フィギュアスケート・町田樹選手**： もともと読書家で、早稲田大スポーツ科学大学院に進み、博士号を取得し、研究者に
- **ボクシング・入江聖奈選手**： 日体大4年で東京五輪金メダル獲得後、カエル研究のため、東京農工大学大学院に進学
- **サッカー・阪口夢穂選手**： 引退の半年後に、国家資格の行政書士と宅地建物取引士(宅建)合格